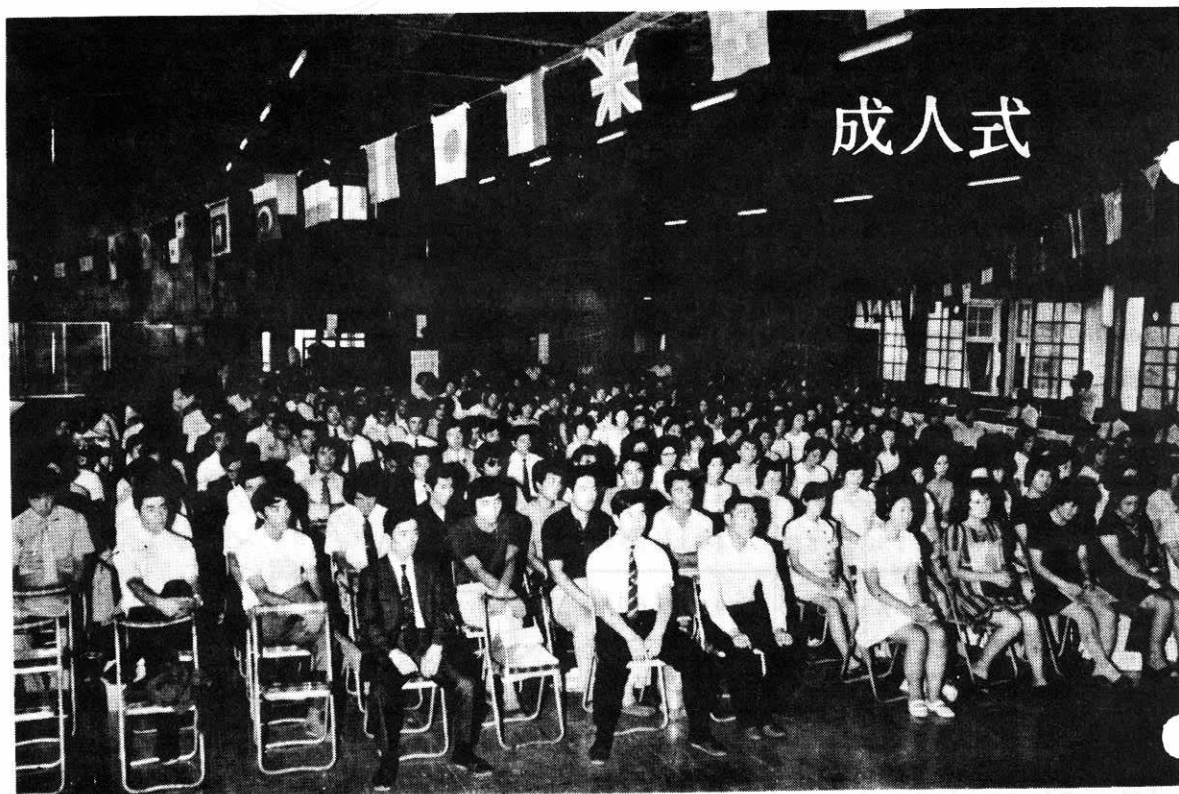




◆発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
TEL (01866) 2-1111
◆編集 総務課秘書係
◆発行部数 6,600部
◆毎月1日15日発行
◆頒価10円◆郵便番号018-33
◆印刷所 成文社印刷所

No.222 46・9月1日



成人式

ことしで2年目を迎えた夏の成人式は、8月15日午後1時から鷹巣町公民館で挙行され、男女413人があたらしくおとなの仲間入りをしました。式典には、男はワイシャツ、女はワンピース姿と軽装で出席、好評を得ていました。(関連記事4、5、6、7ページに)

広報サロン



成田 のり子
(鷹巣)

成人としての責任

「成人」子供から成長して大人になる事を意味する言葉、私くしには二十代になったく喜びくよりも十代にくさよならした淋しさと、大人に仲間入りした事にちよっぴり不安で、実感の湧かない心境です。……というよりも理想よりも現実を大事にし経済的にも損をする事をしない、大人のリアリストに自分自身、成人になることを逃避しているのかもしれない。成人として選挙権が与えられ、その権利と義務を強く痛感いたしております。

政治というものが時には自分自身の生活を支配するということを考えると、一票の価値の偉大さを経卒にはできないと思います。

国民は勿論の事、私たちが成人一人一人が積極的に前向きな姿勢を保つ必要があると思う。これこそ成人としての本当の責任だと思います。

一日も早く最善の努力をおしまない誰れからも喜ばれる成人になりたい。そのためにも私自身、いつの時代にも童心に返ることを怠ってはいけないのだ。

昭和四十五年度

保険給付の状況

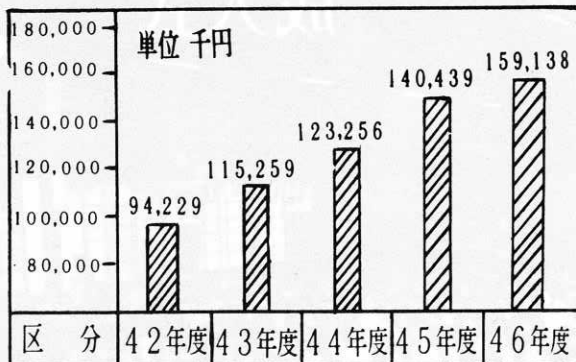
被保険者のみなさんが、お医者さんにかかった際、一部負担金として病院の窓口で三割を支払い、残りの七割は役場で支払っております。

◆年間、一世帯当り医療費55,929円

◆ひとり当り14,328円が医療費として病院へ支払われ、年平均3、5回病気にかかっていることがわかりました。

次に保険給付は一昨年と比較して件数において、1,461件減となり、給付額は2,434万円の増となっております。

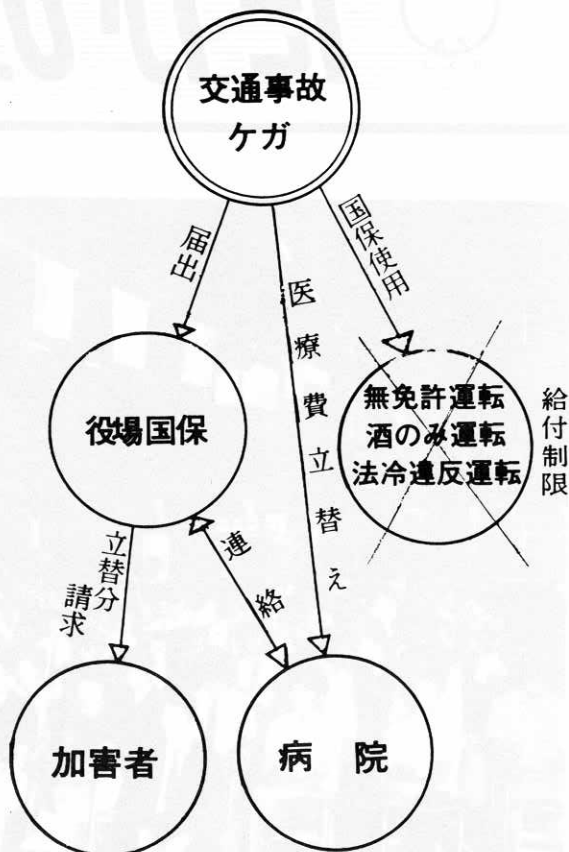
療養給付費の推移



前年度に対する伸び率	22%	21%	8%	14%	13%
42年度に対する伸び率	100%	122%	131%	149%	169%
療養給付費 一世帯当りの額	38,477円	45,624円	48,728円	55,241円	62,488円
被保険者 平均世帯数	3,551	3,621	3,615	3,633	3,635
区分	42年度	43年度	44年度	45年度	46年度

昭和46年度分は推計

国保に加入している者が、交通事故の被害者となってケガした場合、一時国保で治療を受けられますが、その医療費は本来加害者が支払うべきものであり、国保を使うことは加害者が負担すべき医療費を国保が一時代って支払い、町長が被害者に代って請求することになります。



◎国保に加入している者でも、加害者である場合は保険給付がうけられません。

◎届出前に示談にしないで済まないこと。

届出がおくれたり、届出が出されなかった場合は被害者の方に迷惑がかり、被害者自身が返納させられることがあります。

任意給付

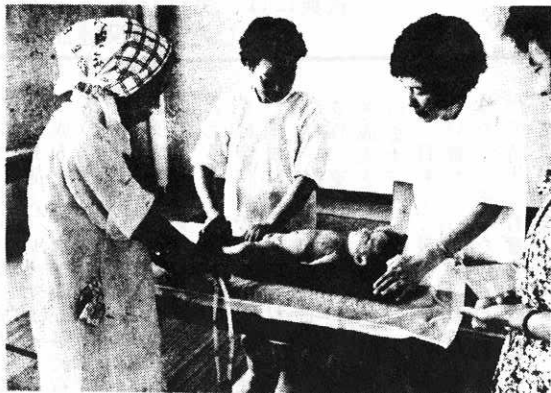
- ◎助産給付 加入者が、赤ちゃんをうんだときは一万円が支給されます。
妊娠したら四ヶ月目には届出をすませ立派な赤ちゃんをうみましょう。
- ◎葬祭給付 加入者が死亡したとき、2,000円が支給されます。

交通事故



交通事故の治療も国保で
国保が一時代てかえます

◎交通事故が発生したときは、いそいで役場保険係へ電話等で届出すること。



毎月1回、乳児の検診、健康相談をおこなっています。

昭和46年度 国民健康保険 —特集—

楽しい家庭は健康な生活から



鷹巣町の国民健康保険も、みなさんのご協力により、順調に運営しております。

家族の七割給付により、早く診療をうけ、早く治すことに役立っております。しかし、一方では医師にかかる回数も年々多くなり、医療費も増加しております。

国の補助金も増額されておりますが、限度がありますので不足分は保険税にたよるざるを得なくなります。

国保の前途は多くの問題が横たわっておりますが、どうかこの制度発展のため保険税の完納をお願いします。

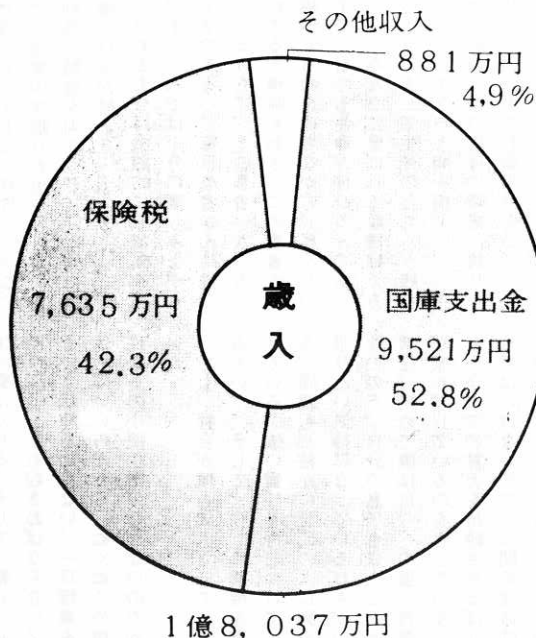
予 算



国保は、特別会計で独立採算制です。
ことしの国保世帯は3,635世帯(推計)
で、予算は1億9,037万円になります。

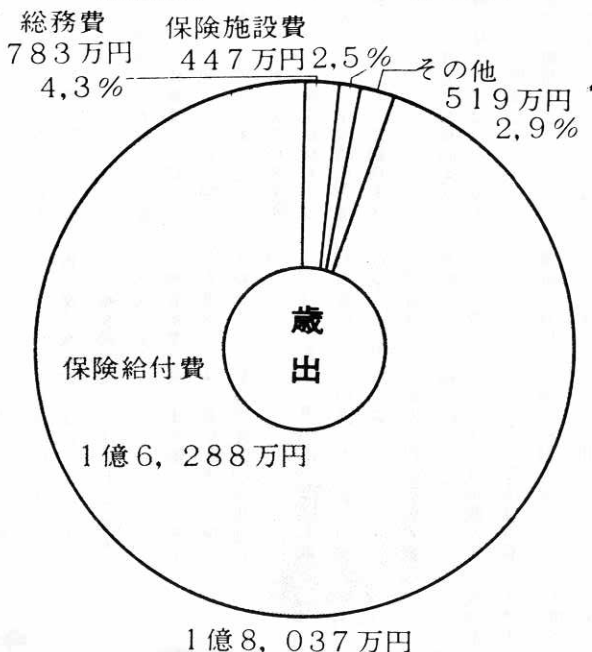
歳入

保険税.....一世帯平均21,000円
国庫支出金..... 26,200円



歳出

保険給付費.....一世帯平均約44,800円
総務費..... 2,150円
保険施設費..... 1,230円



国保税

病院の支払い医療費の見込額によって保険税がきまります
ことしの保険税は一世帯当り21,000円です。

保険税率

	昭和46年度	昭和45年度
①所得割	1.9%	2.2%
②資産割	21.0%	24.0%
③被保険者均等割	1,620円	1,620円
④世帯平等割	3,150円	3,150円

◎療養給付費 (お医者さんに支払う分)

一世帯当り保険税の約二倍強である45,000円が支払われます。

被保険者一人当り約14,000円お医者さんに支払われそのうち役場から10,000円支払います。

◎職員の人件費

一般事務職員は、全額国庫補助でまかなわれております
保険婦の場合には3分の1の国庫補助です。

成人特集

新成人記念感想文

☆ 成人式典に続いておなわれた、新成人記 ☆
☆ 念感想文の発表が、つぎの四氏からあります ☆
☆ したので、その要旨を集録します。 ☆

静かながら
私の体験



堀部 順子
(七日市)

温室で育つ苗木のごとく、まだ汚れた世間を知らず、まっすぐ伸びようとしている、ポプラの木のような私くしも高校卒業と同時に、社会の荒波へと、看護の道をあゆみ始め二年あまり。

学校は准看護だったが、それも普通の組合病院の准看護とはうって変り、その学校へ入学すると、必ずどこかの開業医へ配属になり、午前中は、普通の看護婦と変らぬ勤務をし、午後からは学生という形で、ある時は生徒だからこんなことは出来ないとか、ある時は看護婦という一人前の扱い方をされて、雇用手側からは都合のよいことばかり言われた。

親元を離れ、父母を思い出しては涙が出、思ひっきり泣き、自分の職業のみじめさを、なんで自分ばかりこんな他人の知らない苦勞をしなければいけないのかと疑問をいだきな

がら、いつかは、いつかはきっと私にも幸福が訪れるものと信じながら何何でも資格欲しさに、誰に何と言われても、右の耳から聞き、左の耳からスーと逃がすよう努めたが、それともなかなか出きないことで、やはり気になる事もあれば、一生忘れられないこともあった。

そんな時、遠く離れた友に手紙を書きながら、友の顔を思い出しては自分を励まし元気づけてみた。

つらい／＼つらいと思っても、父母にだけは、私くしの苦勞を知られたくなく、何が何でも絶対苦しいことは話せなかった。

とにかく開業医となれば、安い給料で、そうじから炊事まで一切、その他諸々と、目を開けると目を閉じるまで、仕事は休みなくあった。

誰にもわかってもらえない苦勞をしてきた私。近づく検定試験も不安でたまらなかった。学校時代と違って、試験だからと言って勤務を休むわけにはいかない。

何があるかと、普通どおりの生活の中で、余暇を見つけては、ペンをもちょうに自分を励ましてきた。

ようにと叫ばれ、内心きつと電気料が高くなるからだろう。

そう言われると意地でも眠気など出さず意地を張った私くし。

そういう生活の中で試験の検定試験日／＼も、この試験で失敗したら二年間の勉強も無に等しくなる。

不安のつる胸の内試験用紙とにらめっこ、もしもという気持ちが大きくなって、とても心配だった。

発表までの数日間、その事だけが頭から離れず過した毎日だった。

新聞の片隅に自分の名前が載っているのを、無我夢中で見、一瞬胸のつまる思いだった。

一度に今までの苦勞が身にしみて、どっと涙の出る思いだった。

誰よりも早く両親へ、合格を喜んでもらい、次々と友に知らせをし、共に喜んだとき、ほんとうに一生この仕事を続けようと思ったもの、その時であった。

准看護卒業／＼そのまま働くか、それとも進学コースへ進むか迷いに迷った結果、また勤労学生という生活にはいることにした。

やはり、看護の道へ入った以上取れる資格は全て取得したいという意欲で、高看入学となった。

准看護時代は、雀の涙程の手当てで授業料払うのに精一杯だった。

生活費および、小使いは両親からの仕送りを受けた。今の生活は准看護の資格で普通の給料を受けながら、午後三時から三時間にわたって

授業が行なわれる。夜間コースなので、授業中居眠りも出てきますが、勤務と勉強を両立させ、三年間の試験の日々が続きそう。

けれども今は金銭的にも苦痛を感じず、一人では十分に楽しみながら生活できるし、毎日患者さんに接しているうちに、その患者一人一人に対する人情味もわき、この患者の幸福のくるのを待ちながら、私くしの手で一日でも生命が伸びるんであつたら、みんなに喜ばれる看護婦であるよう、まして生死のどちらが残るかという生きた人間を相手に、一生けんめい、今の自分の職業に誇りを持つていつまでも頑張りたい。

今二十才に
むかって



高橋 充
(綴子)

本当のことを言おうか。僕は甘えの中で一人強がりを行い、今までぬくぬくと生きてきた人間にすぎないのだ。髪を長くし、Gパン姿でいることが若者なるものであると錯覚したりすることしかできない一人の人間だ。月々いくらか家からの送金はあつた。僅かのバイトでもすれば

生活費はたりる。そして、朝いくらか深夜酒しても起きねばならない、という状態を知らない。一日授業を休めばいいのだから。ぬくぬくの根性なしの小便小僧でしかないのだから。

でも、社会が僕を成人させてくれるという。そして、少しの期待を寄せている。強い責任を押しつけてくる。両親も心秘かに世間の人に胸を張りたい気持ちになっているにちがいないのだ。自分の息子も成人したと責任。初めて僕は自らへの重い言葉が流れてきているのを感じている。

もう今までの甘えを持続させるばかりではいけないのだ。人間の使命の本分を自覚してゆかねばならないのだ。でも、とても疲れてしまうことがある。あまり気負いすぎるのがある。全く足が進んでいないような気がして、ますます焦ってしまうのだどこかへ逃げてしまいたくなる。旅にでも出ようか。いつもそう思いながらつい行かずじまになる。そして昔の日々に浸ってしまう。

いが、幼い日の純粋さは、まだ失なわれていないとすればいつまでも大事にしたい。「大人になって思うことは、楽しかった飯事遊び。心の隅に涙を落とし子供の世界をふり返える」。かなり前に書いた詩の一節にこんなものがある。中学、高校そして大学の二年間。考えてみれば同じ生活の繰り返し。でも僕の中で僕は育ってきた。試行錯誤。いくら活字を追ってもこれだけは経験に頼るしかない貴重なものだ。そしていろんな人が僕の周囲にはいた。何人の友達がいるだろうか。彼らに僕はどうか映っているだろうか。楽しい反面、そう思うとすごく怖い。毎日が間違いだらけだったような気がするから。新しい人も見つかるだろうけど、昔の人が心から消えることはないだろう。もう死んでしまった人も中にはいるが、忘れたくないと思う。

師と仰げる人も幸い僕には多かった。叱るにしても注意するにしてもその言葉に重みが一番あるのは、多くの先生たちだった。大事な存在だと思う。でも反抗期というのだろうか「先生なんて」と思う時期もあった。いつも怒鳴ってばかりいて、言いたいことを言っても先生はそれほどのことをしていないのだろうか……。もっと若いころの若気のいたりかなのだろう。一時ブームだった切手に凝っていて宝物のようにしていた切手を盗まれてしまったとき「よかったらあげますから、元気を

だしてまたあつめ、ださい」などたくさん切手をくださった校長先生もいる。そんな先生たちがいなければ僕の現在もなかったのだし、事実、教育されてきた我々が先生を軽視できるはずがないのだ。それは恐い自己否定にほかならないと思う。そして両親の影響は一第強い。何十年かの一緒の生活の中から僕にしみこんできた数知れない教訓と喜びがありがとう。とんびがからずを生んだと言われてもしかたがないが、少しでもとんびにたからすにならないうと日々思っている。あと何十年かかるかな。

そのようにして今の僕がいる。僕を含めた同世代の人々に目を転じるとやはり甘えばかりが目につく。自由だ。自由だと言う。そしてもっと自由がほしいとも言う。でもその自由を、責任も忘れて叫びたてていてはならないだろうか。責任のある自由。必要だと思う。三無主義という無気力、無関心、無責任。どれをとっても胸のしめつけられる想いだ。これほどの豊かな社会で、なお何の不満があるのだろうかとか自問してみると、不満はあるがその解決の為に何もしていない自分を見い出してしまふ。そして旅に出たいなどと言ってみたりする。恥しいが言わなければならぬ。甘えているのだ。でも、三無主義とは全く遠い所にいる人も多い。農業に打ち込んでいる友だちの女の子には頭の下がるおも

いだ。大人はそれを忘れていたのだと時々思う。あまり若者に絶望されてもこまるのだ。

教育って何だろう。そんなことを考えることがある。今まで、僕が受けてきた教育はよかったのだろうか。他と比べる由もないのでわからないが、悪かったとは決して思わない。ただ、高校の受験勉強だけは、今思ってもっとほかにすることがあったように感じる。今まで受けてきたような教育を人に施す能力が僕にあるだろうかと思うと、自信もないし不安だし、「教師になろう」という気持ちもゆらいでしまふ。大賛成はないという親の心情もわからないではない。でも大事なやり甲斐のある仕事だとは思う。教育される立場にいる僕が全く逆の教育する立場の現状についてどう言うつもりもないし、わずかな読書と知人からの言い伝えしか情報源のない教育について論じるほど軽率でもない。教育を考えはじめたのは最近だし、相手が途つてもなく、真理の伝達と創造力の養成という教育の中に、僕は自分の捜しているものがあるような気がして、つい教師にあらがれてしまふのである。今しばらくは、教師になろうと思っているのである。

今、少し長すぎたこの感想文を読みかえてみると、「甘え」ばかりのポイントの定まらない宙ぶらりんのものになってしまったような気がする。今から「私はこんな仕事に一生を

農業後継者に思う



宮 慶 文 義
(七日市)

生を「たい」などとはおこがましくて言えないし、それほど信念を固めている状態ではないのが、そうさせたのであろう。でも人生とがっつき四つになって取組むまでは、もう二、三年あるし、今はちょうど土俵に上がったばかりの力士みたいなものだ。成人になった実感もないし、いつそうなるか皆目見当もつかない。いつかは……などと一人意氣ばってみたいものがある。それまでは学生がとやかく言われる時世ではあるが、今できることをやりながら創造的余暇などと自称してゆつくり歩いてゆきたいと思うのである。

農業の後継ぎをする者までが出て行つて困った。」と云うことなのです。どこにどんな原因があつて、農業が嫌われるのか、その理由は果たして何なのか、など、お茶をのみながら話しをするのです。その理由を自分なりに考えて見ると、確かに思いあたることがいくつかあるのです。農業と云うものの本質そのものではなく、現在の農村社会の生活様式や、農業を行なっていく上での経営形態が、現代社会の経済機構を都会と比べてみると、あまりにもかかはなれているような気がするのです。ここ数年、農業への風当たりは強く、今年より厳しいものがあります。その中でもとすると農業は、他の産業とは全く異なった産業部門と考えられがちですが、それはまちがっていると思うのです。農業はやっぱり産業部門として存在するものであり、生活面においても、その使命は大きいものがあります。その点で、農業に対して別に悲観したり、劣等感をもったりすることは毛頭ないと思うのです。いや信じています。今までの農業は、農家戸数も非常に多く、その経営規模も零細的でしたが、これからの農業は戸数そのものよりも経営を行なっていくための、経営者の高度な技術と云うか、その質そのものが重要になると思うのです。誰も彼もが農業をやれる時代と云うのは、すぎさうとしているのです。このようなことから、農業後継者

問題や後継者育成、離農対策等と云うものは、同時に併行して考えられるべきだろうと思います。通常我々が考えるには、農業の後継者はだいたい農家の長男で、先祖代々の農業を継ぐものをさしますが、それは、必ずしも長男でなくても長男以外でもよいのであって、次の代のよき農業の担い手であればよく、もっと視野を拡大すれば、農業以外でもよいはずなのです。変な考え方も知れませんが、従来の考え方から云って、メスを入れるつもりでこいから辺で、深く考えなおして見たいものだと思います。農家の長男ですら農業から離れてゆくと云う現在のな

に、ましてや、農業以外から人をつれてくることは、非常にナンセンスだと思えます。だが、そうすることこそ後継者問題をやわらげるとともに、その本質を示すものだと思うのです。僕自身農家の長男であり、一人の後継者として、青年として、弁護のために云うではありません。が、このようではなければ農業もみはなされ、一つのカラの中に入るのはないでしようか。僕は農家に入り農業を継ぐつもりですが、ただ農家の人々の中に考えてほしいことがあるのです。それは、従来の考え方がいちがいには云えませんが古く、固定的であるとともに、自意識が強く排他的であるため、もっと時代に即応した流動性のある考え方をもちてほしいのです。もっとも、後継者

が農村から出て行くこと云うのは、最近だけのことでなく、前々からのことですが、なにか目に見えない拘束力によって、縛られてでられなかったのではないでしようか。しかし農村から出るにしても、単なる「逃避」であってならなく、いろいろな角度からよく検討してみ、自分が農業よりも、他の職業に適しているかどうかを考えた上に、出るのか兼業をするのか、事前事後のことを考えてから行動するべきだろうと思います。あくまでも責任のある行動をとってほしいのです。農業が好きなことから云って簡単にできるものでもなく、嫌いだからと云って単純に飛び出すようであれば、その人に對してはもっと反省してほしいと思います。こう云うと、いかにも不満がないように思われるかも知れませんが、決してそうではないのです。もう一度、農業が嫌われる大きな点を自分なりに考えてみますと、その一つは、労働時間と所得のことです。経営の規模拡大や、機械の導入によって解決されつつはありますが、まだ十分ではなく、働いた割には収入が少ないことです。もう一つは、やっかいな農村における社会生活です。これがもっとも若い者に嫌われる問題だと思えます。特に「結婚」については敬遠される問題だと思えます。私が今、もっとも望んでいることは、残った者同士心の結びつき、志を同じく共々、を握りあい、



工藤 慶一 (鷹)

20才と四年間社会を振り回す。農家の私生活

新しい農村を築くために、農業に希望と情熱をもってぶつかってゆく青年が、農業、農村はどうなるか、ではなく、どうするかを考え、確信をもって農村を切り開いていく若者が一人でも多く、「仲間同志」となれることを強く念願しています。

私は、四年前、学校を卒業して希望と不安を持って社会に出ました。私くしを待っていたのは、社会の厳しさと仕事の厳しさだった。この日から、一年目の春は、私くしも将来の技能者を目ざして仕事を、一生懸命やって来ました。異々の現実を私くしは、これをゆつくりと確実に覚ばえて努力して来ました。社会に歓迎される人間とは、一体どんな人のだろうか。又どんな事を学び、どんな事を知っている人間なのだろうか。社会に歓迎される人間になる為には、どんな事を学び、どんな事を知っておくべきだろうか考えました。そんなある日、こんなことわざが目に入った。

「社会は、心の狭い、秀才よりも、大空の様な大草原の様な、心の広い人間味豊かな凡人を歓迎する」とあった。

現実では、そうでないと、言う人もあるかも知れませんが、このことわざを信じて人間味豊かな心の広い社会に歓迎される人間になろうと思ううちに、社会人としての一年目は、夢中で取り組んで来た。

社会に出て一年目は、あまりバツトしなかったもので、二年目の年に挑戦することになりました。二年目の挑戦は、技能士としての腕を育てるためと、人間として素養を身につけるために、自分自身に言い聞かせて仕事と社会に突進しました。

四十二年という年は、考えさせられるような、社会ニュースが目につきました。

いくつか上げて見ようと思います。一月二十七日、アメリカのアポロ宇宙船炎上三人死亡する。

四月一日、南海電鉄が大型トラックに衝突、五人死亡重軽傷百九十六名。これは痛々しい事故でした。六月に入ると全世界が平和を求めている中に六月四日、中京戦争没発、一方ではベトナム戦争が続けられている。一体何んのために戦争しているのかわからない。人間同志の殺し合いがいったい何んのためになるのだろうか。私くしには、責める資格はないが、私には残念に思います。

それに九月十一日、中印国境紛争が始まる。日本では、十月八日、佐藤総理、東南アジア訪問、反対の学生が羽田で乱闘、一人死亡、この年は、あまりにも私たちに考えさせられることが多かった。四十二年の世界情勢と日本の政治を視て、なぜか私は多少の政治に感心を持つようになりしました。四十三年には、清水市にライフル魔出現、米国の黒人運動指導者、キング牧師暗殺される。経済では、若年労働力の不足、消費者物価の上昇、学園紛争が各大学に波及、交通戦争、なんて目まぐるしい社会になって来たのだらうと思います。四十四年には、世界の激しい対立が続いている中で、わが国にとっても、私たちに對しても明るいニュースがありました。日米の沖縄返還交渉が行なわれ、四十七年に返還されることになったことです。ところがアジアに目を向けて見ると、ベトナム戦争が、拡大するに至ったこの戦火は、アメリカは、国内を始め世界各国の非難を受けるようになってはいでしようか。

公害問題は全世界の大きな課題になって来ている。

四十五年は、飛行機乗っ取り事件が世界の各地で発生した。ハイジャック騒ぎが日本でも起きた。

消費物価、公害、交通事故など私が訴えたいことは、たくさんあります。公害問題にしても、大気汚染、自動車の排気ガス、有害着色剤、農薬などの害である。一つ例を上げて見よう、イタイイタイ病、水俣にし

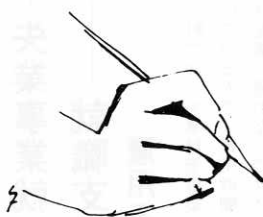
も政府は患者側が訴えてから、腰を上げる。患者側が訴える前に、なんとかできないだろうか。外国でやったら、日本でもその通りやったら、公害問題が解決するでしょうか。

選挙は、私も選挙権を持って一票投じました。しかしながらどうだろう。後からになって選挙違反が、次々に出て来る、選挙は正々堂々と争ってやるのではないのでしょうか。

全体を振り返って、私はこのままの政府のやりかたでは、だめだと思っています。私たちが一人一人団結していかなければならない。私はそれを望み訴えたいのです。もう少し自分自身を見つめる必要があるのではないのでしょうか。他人まかせでなく、みんなが団結して、この社会を作っていくかなければならないのではないのでしょうか。そして私は今年が最悪の年でも良い、この三百六十五日を力いっぱい生き、社会に対しても一生懸命やって行きたいと思っています

成人おめでとう

いよいよ



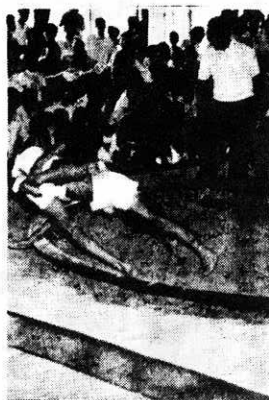
子ども会相撲大会

元氣子ども会チーム優勝

第四回鷹巣町子ども会相撲大会は

八月十六日午前九時から鷹巣町公民館特設土俵で開かれ、団体戦では、元氣子ども会（綴子）、個人戦は二年生の部で、鷹舟子ども会の三沢正司君（鷹巣）、三年生の部でなかよし子供会の北島一雄君（栄）がそれぞれ優勝しました。

団体戦は三十八チーム、百四十四人個人戦は二年生の部三十五人、三年生の部二十九人の豆力士が、元氣一杯の土俵をつとめ、つきそいの子ども会世話人や父兄から、盛んな声援をうけました。



団体戦

優勝の元氣子ども会

よりたおし、東の勝？



個人戦

三年生の部優勝の

北島一雄君



個人戦

二年生の部優勝の

三沢正司君

出稼ぎ三柱

出稼ぎの時期が近づいてきました。

つぎの事項に心掛け、優良な事業所を選らんで就労して下さい。

- ① 毎年同一事業所に就労する。
- ② グループで就労する。
- ③ 単純肉体力労働より技能労働に。

九月の天気予報

秋田地方気象台発表

概況 九月から十月にかけての初秋は、ほぼ平年並の天候がみこまれます。しかし初露や初氷などの季節現象が例年より早く、秋の訪れはやや早目になるでしょう。

天気 割合周期的な天候の変化を示しますが、全般に移動性高気圧が、北に偏って通り易く、本州南岸に前線が停滞し易くなるので、曇や雨の日が、現われ易い見込みです。下旬には大陸高気圧が、北に偏って張出すので、全般に涼しい天候が現われ易くなるでしょう。

なお台風が一個位、本土に接近または上陸するおそれがあります。

気温 一時高温な期間もありますが、平年並かやや低目の日が多く、月平均では平年並かやや低くなる見込です。

降水量 やや多い見込で、台風の影響によつては、所により大雨となるおそれがあります。



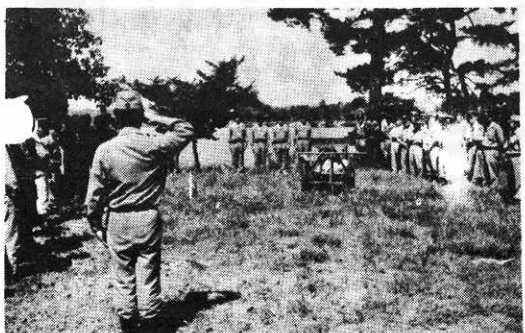
広報カメラ日誌



8月7、8日＝第12回秋田県フォークダンス講習会が、公民館役場前広場を会場に開かれました。講習の合間には各国民族舞・の演技などで町民の目を楽しませてくれました。



8月8日＝第16回鷹巣町婦人家庭バレーボール大会予選会が綴子小学校体育館で開かれました。会場には赤ちゃんをあやすママさん選手のほかほほましい風景があちこちにみられました。



8月18日＝鷹巣町消防団訓練大会が中央公園児童遊園地に350名が参加して行なわれました。訓練は点検礼式、ポンプ車操法など、キビキビした訓練に頼もしさを感じました。

ごきげんいかがですか
どうぞおでかけください。

町長面会日

■毎月第1、第3火曜日(9月7日、21日) ■午前9時～12時
■2階応接室へ気軽にどうぞ

▽南鷹巣
三十三区

成田 吉美

▽鷹巣地区

戸島 正勝

新町内協力員紹介

失業事業就労者に

就職支度金がですす

雇用事業主には奨励金

県と町では、失業対策事業に勤めている人で、常用就職や、自営業の開始などで自立を希望する場合の奨励資金として、県から二十五万円、町から十五万円、あわせて一人当たり四十万円を貸付けることになりました。

貸付金には利息はなく、就職や自営業をはじめて一年以上引つづいた場合は返済しなくてもよいことになっており期限は、九月三十日までと合せ下さい。

詳細は、職業安定所にお問、ことに「青年の船」団員に、栄字田沢農業亀山誠さん



「青年の船」団員に 亀山誠さん決まる

日雇労働者雇用奨励金の支給条件は、安定所の紹介により、失対事業紹介対象者を常用採用した場合となっております。

狩猟者講習会

九月二十二、二十三の両日

北秋田総合庁舎でおこなわれます。受講希望者は九月十五日まで、北秋田農林事務所林務課へ申込みください。

(23) が正式に決定しました

亀山さんは、九月二十日から十一月十二日まで五十二日間、東南アジア(中華民国、タイ、シンガポール、マレーシア、ビルマ、セイロンなど)を船で巡航し、現地視察および現地の青年と交歓を行ない国際親善に努めることになっております。

ゆくえ不明者
相談所開設
9月9日～11日

ゆくえ不明者

相談所開設

9月9日～11日

昭和二十六年からことしの七月末までの県内の身元不明の死亡者は百十五件、家出人でいまだゆくえのわからない

方は百十七名おります。

身元不明死亡者は家族にも引取られず無縁仏として扱われているわけです。

鷹巣警察署では、これら家出人、ゆくえ不明者あるいは不幸な無縁仏の身寄りを一人でも多くさがすため、九月九日から十一日までの三日間、鷹巣警察署に台帳や、写真を準備し、相談所を開設しますので、家出をし、ゆくえ不明の方は気軽においでください。

たばこは
町内で買い
ましよう

心配ごと相談所

町社会福祉協議会では、毎週月曜日(午前十時から午後三時まで)役場一階相談室で「心配ごと相談所」を開設しています。

相談は、無料で相談にかかわる秘密は、かたく守られますので、お気軽においでください。

相談を受ける内容は、生活苦、その他生活上のこと、就職のこと、家庭内のこと、その他、あらゆる心配ごとの相談に応じています。